

# 第 50 回 九州地区難聴・言語障害教育研究会 佐賀大会

**大会主題** 「これからの難聴・言語障害教育のあり方を考える」  
～子どもや保護者のニーズに応える支援や連携をめざして～



《主催》九州地区難聴・言語障害教育研究会 佐賀県難聴・言語障害教育研究会

## 《大会趣旨》

近年、共生社会の形成に向けたインクルーブ教育システムの構築へ向け、様々な取組が進められています。障害のある子どもが自立し社会との繋がりを築いていくためには、一人一人の教育的ニーズに的確に応える指導を提供することが不可欠です。そのためには、学びの場の整備をはじめ、教職員の専門性の向上、ICT技術の活用、関係機関との連携による切れ目のない支援体制の整備等を進めることが求められています。特に、特別支援学級や通級による指導の担当教員は、特別支援教育の重要な担い手であり、研修を通じて継続的に専門性の向上を図ることが必要であるとされています。

第50回という大きな節目の年を迎える佐賀大会は、九州各県より多くの先生方に参加いただく中、これまでの2日間開催を見直し、1日に凝縮して開催する運びとなりました。日程は短縮されましたが、対面参加に加えオンデマンド配信の実施により、特定の時間や場所に縛られず参加できるという新しい研修のスタイルを提案します。

教育実践の成果と課題を共有し、相互に専門性を高め合う場としての本大会の本質的価値はこれまでと変わることなく継承して参りたいと考えます。これまで同様、実りある協議と学びの場となることを願っております。

《期日》令和8年7月31日（金）

《会場》佐賀県立男女共同参画センター  
佐賀県立生涯学習センター

**アバンセ**

〒840-0815

佐賀市天神三丁目2-11(どんどんどんの森内)

TEL:0952-26-0011

《日程》7月31日（金）

8:45	9:00～ 9:45	10:00～10:40	10:45～12:30		13:30～16:30
	受付	開会行事 九難言総会	全体会 (記念講演) ※オンデマンドはありません	昼 食	分科会 【構音・吃音・言語発達・聴覚】 (提案・協議・ミニレクチャー) 対面式/オンデマンド
受付	親の会代表者会				
	各県代表者会				
	分科会打ち合わせ				

## 《記念講演》

明治学院大学 心理学部教育発達学科 教授  
**海津 亜希子 先生**



### 〈著書等〉

- ・多層指導モデルM I M
- ・通常の学級における多層指導モデル（M I M）の効果・小学校一年生に対する特殊音節の読み書き指導を通じて
- ・個別の指導計画作成と評価ハンドブック：学習障害（LD）のある小学生中学生高校生を支援する

## 《分科会》

分科会	提案	所属
① 構音	鹿児島県 佐賀県	聖マリア病院リハビリテーション室 言語聴覚士 中島 栄子 先生
② 吃音	長崎県 福岡県	ことばの相談 nakano 言語聴覚士 仲野 里香 先生
③ 言語発達	沖縄県 大分県	佐賀県言語聴覚士会監事 言語聴覚士 平 いつき 先生
④ 聴覚	熊本県	福岡教育大学教育学部特別支援教育ユニット 講師 喜屋武 睦 先生

《参加費》 4000 円（手数料別途）

## 《連絡先》

### 【大会事務局】

佐賀市立勸興小学校 ことばの教室(事務局長 片渕 幸)

〒840-0814 佐賀市成章町3番16号

TEL0952-24-4235 FAX0952-24-4236

E-mail: [r8saga@sagacity.ed.jp](mailto:r8saga@sagacity.ed.jp)